

# 『Mind Charging』

第 206 回 発行：入試広報室 発行日：令和 3 年 2 月 5 日

## ホセ・ムヒカの名言



### 世界を変えられるわけではありませんが、 あなた自身は変わることができるんですよ。

ムヒカ元大統領は『世界一貧しい大統領』と呼ばれていたそうです。その理由は、『①就任中、大統領官邸には住まずに質素な自宅で暮らしていた』『②給料の 9 割を寄付。残りの約 10 万円で生活していた』『③移動は基本的に友人から譲り受けた自家用車を自ら運転していた』ということが挙げられます。世界一貧しい大統領という理由を国の経済的な理由だと思っていました。自ら可能な限り質素な生活を選んでいたということでした。『国のために尽くす』ということに対し、ムヒカ元大統領の中で表現した“姿勢”だったということです。

私たちが暮らす日本という国は非常に便利で発達していることから、欲しいものがどんどん手に入る生活こそ裕福である、という価値観の中で生きているように思います。私の中にも事実このような価値観は少なからず持っています。人の欲望は無限大にエスカレートしていきます。そして、それが“生活レベルの向上”と思っているかもしれませんが、彼は『貧乏とは物が少ないことではなく無限に欲があることです。(中略)貧乏とは、欲が多すぎて満足できない人のことです。私は、持っているもので贅沢に暮らすことができます。』と述べています。彼の生き方を真似しようということではありませんが、彼のような考え方があるということを知っておくことや、良いなと思ったことは取り入れることが必要だと感じました。

自分がより良い状態を目指すことは大切です。また、良い状態と感じる部分は人によって様々です。そういう意味で、今回の言葉で一番感じたことは『自分と人は違う』ということです。そのことを受け入れた上で、今回の言葉と『豊かさ』について今一度考えてみてはいかがでしょうか。“自分が変わる”ということは大変なイメージを受けますが、実は努力の過程の中で必要であれば自然に起こる現象なのかもしれませんね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

ホセ・アルベルト・ムヒカ・コルダノ(西: José Alberto Mujica Cordano, 1935 年 5 月 20 日 - )は、ウルグアイの政治家。2009 年 11 月の大統領選挙に当選し、2010 年 3 月 1 日より 2015 年 2 月末までウルグアイの第 40 代大統領を務めた。バスク系ウルグアイ人。愛称はエル・ペペ。報酬の大部分を財団に寄付し、月 1000 ドル強で生活している。「世界一貧しい大統領」と呼ばれた。(Wikipedia 参照)